

第78期 年次報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで

株主の皆様へ



代表取締役社長 CEO
小野 有理



ものづくり80年 信頼を掲げ未来へ^{光輝く}

ダイヤモンド電機株式会社は、2017年4月10日に創業80周年を迎えました。

当社は、1937年にわが国で初めての自動車用点火コイルメーカーとして創業しました。以来、「ものづくり」の会社として自動車機器事業と電子機器事業を展開し、エレクトロニクス製品を世界の自動車メーカー様や家電メーカー様に提供してきました。

長年にわたり当社を支えてくださった全てのステークホルダーの皆さまに心より感謝申し上げます。80周年を節目として気持ちを新たに、全社一丸となって、皆さまの信頼にお応えできるよう努めてまいります。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。さて、ここに第78期（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）の事業の概況と決算の状況をご報告申し上げます。

事業の状況（連結）

・全般的概況

当連結会計年度（平成28年4月1日～平成29年3月31日）における世界経済は、年度当初、北米経済は減速感があったものの、トランプ氏就任により持ち直し、欧州経済も緩やかな拡大基調を維持しました。一方中国経済は、減速傾向にありますが、緩やかなテンポにとどまり、新興国では最悪期を脱した感があります。また、我が国経済は、企業業績の改善や設備投資の緩やかな増加がみられるものの、個人消費の回復は弱く、全体として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、北米・アジアを中心に成長が見込める海外市場に重点を置き、売上拡大、調達及び生産の合理化に努めてまいりました。

当連結会計年度の売上高は、海外市場の好調継続により、581億51百万円（前期比1.8%減）、営業利益は22億91百万円（前期比2.8%減）、経常利益は22億12百万円（前期比0.3%減）となりましたが、独禁法関連損失等の計上により、親会社株主に帰属する当期純利益は7億31百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失13億81百万円）となりました。

次期の見通し

次期の見通しにつきましては、米国・欧州では緩やかに景気拡大し、企業収益の拡大が見込まれますが、中国経済の失速感や新興国の景気低迷等、先行き不透明な状況が続くものと見込まれています。

このような状況の下、当社グループにおきましては、省燃費・省電力をキーワードとした省エネ新製品の開発に注力し、当社のグローバルネットワークを活用して、全世界でビジネスの拡大を図ります。

また、取引金融機関からの強力な支援を得て、資金繰りの目途付けができたことから、中長期計画達成に向けた技術への投資拡大を図ってまいります。

以上により、通期の業績につきましては、売上高608億70百万円、営業利益6億81百万円、経常利益5億52百万円、親会社株主に帰属する当期純利益3億79百万円を見込んでおります。

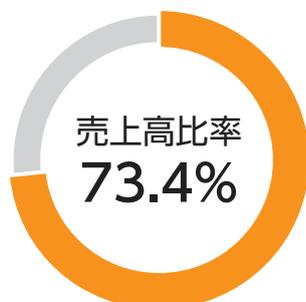
なお、業績見通しは、1米ドル = 105円、1ユーロ = 117円を前提として策定しております。

今後とも株主の皆様におかれましては、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別事業の概況

自動車機器事業

自動車機器事業は、国内市場および、北米・アジアを中心とした海外市場が好調に推移したものの円高の影響を吸収できず、売上高は426億68百万円（前期比3.7%減）となりました。利益面でも、円高の影響を吸収できず、セグメント利益は35億11百万円（前期比15.0%減）となりました。



売上高の推移（単位：百万円）



主要製品



矩形型点火コイル



電力回生用DCDCコンバータ

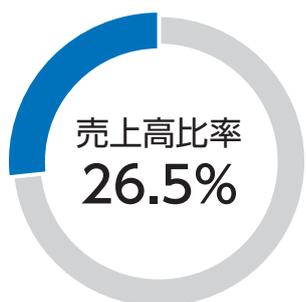


ボディコントロール用ユニット

- ・プラグホール内搭載型点火コイル
- ・イオン電流検出機能付点火コイル
- ・クランク角・カム角用回転センサー
- ・トランスミッション用スイッチ
- ・ハイブリッドカー用DCDCコンバータ
- ・アイドルストップ用DCDCコンバータ
- ・オートエアコン用コントローラ 等

電子機器事業

電子機器事業は、国内市場が好調に推移し、また、中国・インドをはじめアジア市場においても堅調に推移した結果、売上高は154億33百万円（前期比3.7%増）となりました。利益面では、売上高増加等により、セグメント利益は5億12百万円（前期比179.8%増）となりました。



売上高の推移（単位：百万円）



主要製品



エアコン室外機用インバータユニット



ビル用集中管理コントローラ



太陽光発電用パワーコンディショナ



ハイブリッド蓄電システム用制御コントローラ

- ・浴室乾燥機／乾燥機用コントローラ
- ・リチウムイオン用制御コントローラ
- ・グローバル対応汎用インバータ
- ・太陽光発電システム用カラー表示ユニット
- ・インバータ／PFC一体型パワーモジュール 等

その他

物流事業等を行うダイヤモンドビジネス株式会社の事業セグメントの売上高は、48百万円（前期比94.7%増）、セグメント損失は1億58百万円（前期のセグメント損失は1億14百万円）となりました。

第78期 連結業績サマリー

売上高

581億51百万円

対前期比
1.8%減



(単位:百万円)



営業利益

22億91百万円

対前期比
2.8%減



(単位:百万円)



経常利益

22億12百万円

対前期比
0.3%減



(単位:百万円)



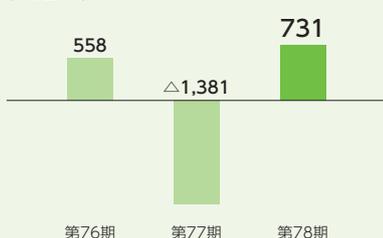
親会社株主に帰属する 当期純利益(損失△)

7億31百万円

対前期比



(単位:百万円)



1株当たり当期純利益(損失△)

81.29円

対前期比



(単位:円)



第79期 連結業績予想

売上高

608億70百万円

対前期比
4.7%増



営業利益

6億81百万円

対前期比
70.3%減



経常利益

5億52百万円

対前期比
75.0%減



親会社株主に帰属する当期純利益

3億79百万円

対前期比
48.2%減



1株当たり当期純利益

42.09円

対前期比
48.2%減



連結財務諸表

連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	第78期 平成29年3月31日現在 (当連結会計年度末)	第77期 平成28年3月31日現在 (前連結会計年度末)
流動資産	22,174	19,274
固定資産	12,416	12,225
有形固定資産	10,484	10,719
無形固定資産	199	282
投資その他の資産	1,732	1,223
資産合計	34,591	31,500
流動負債	19,484	17,703
固定負債	7,237	6,557
負債合計	26,722	24,261

科 目	第78期 平成29年3月31日現在 (当連結会計年度末)	第77期 平成28年3月31日現在 (前連結会計年度末)
株主資本	7,860	7,235
資本金	2,190	2,190
資本剰余金	5,277	5,383
利益剰余金	461	△ 270
自己株式	△ 68	△ 67
その他の包括利益累計額	△ 72	△ 69
その他有価証券評価差額金	43	47
繰延ヘッジ損益	—	△ 0
為替換算調整勘定	△ 136	29
退職給付に係る調整累計額	20	△ 145
非支配株主持分	80	72
純資産合計	7,868	7,238
負債純資産合計	34,591	31,500

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	第78期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで (当連結会計年度)	第77期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで (前連結会計年度)
売上高	58,151	59,208
売上原価	47,851	48,126
売上総利益	10,300	11,082
販売費及び一般管理費	8,008	8,724
営業利益	2,291	2,357
営業外収益	161	134
営業外費用	241	272
経常利益	2,212	2,219
特別利益	281	649
特別損失	1,239	3,460
税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△)	1,254	△ 591
法人税等	512	783
当期純利益又は当期純損失(△)	741	△ 1,374
非支配株主に帰属する当期純利益	9	7
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失(△)	731	△ 1,381

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	第78期 平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで (当連結会計年度)	第77期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで (前連結会計年度)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,915	1,761
投資活動による キャッシュ・フロー	△ 2,005	△ 771
財務活動による キャッシュ・フロー	1,600	△ 650
現金及び現金同等物 に係る換算差額	2	△ 254
現金及び現金同等物 の増減額(△は減少)	2,513	84
現金及び現金同等物の期首残高	3,169	2,471
連結の範囲の変更に伴う現金及び 現金同等物の増減額(△は減少)	—	612
現金及び現金同等物の期末残高	5,682	3,169

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

トピックス

『第7回国際スマートグリッドEXPO展』に出展

2017年3月1日（水）～3日（金）、東京ビッグサイトで開催された「第7回国際スマートグリッドEXPO展」（主催/リード エグジビション ジャパン(株)）に出展いたしました。

「第7回国際スマートグリッドEXPO展」は、スマートグリッド（電力向けITソリューション）の構築に必要なあらゆる製品・技術が一堂に出展される国際商談展です。今年も世界31ヵ国より1,570社が出展し、大規模な展示会となりました。近年、注目を浴びている太陽光・水素・風力・バイオマスといった再生可能エネルギーの技術や、エネルギーを利用するための蓄電システム・マネジメントシステムが多数展示され、3日間で計“62,395名”もの来場者で賑わいました。

期間中、国内だけでなく海外を含め、3日間で206社のお客様に当社ブースへお越しいただき、代替エネルギーに関する情報交換や、当社技術力をPRする良い機会となりました。

本出展を通じて新たな商談にも繋がり、今後も当社のビジネス展開に活用してまいります。



今回、ヘッドスプリング株式会社と合同で出展し、当社としてパワー系ビジネスの主力製品である「太陽光発電用（屋外設置用）パワーコンディショナ」と「ハイブリッド型パワーコンディショナ」を出展いたしました。



◆太陽光発電用パワーコンディショナ（屋外設置用）



◆ハイブリッド型パワーコンディショナ内部基板

株式に関する事項 （平成29年3月31日現在）

株式の総数・株主数

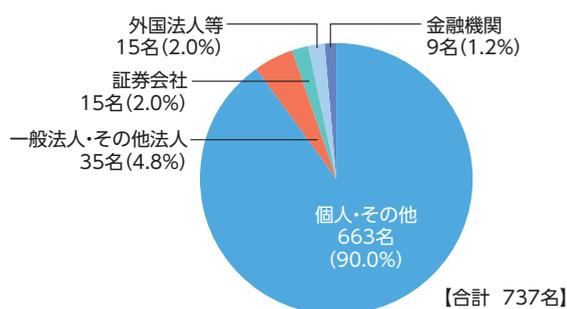
発行可能株式総数（普通株式）	36,500,000株
発行可能株式総数（A種優先株式）	150株
発行済株式の総数（普通株式）	9,149,400株
発行済株式の総数（A種優先株式）	150株
株主数（普通株式）	737名
株主数（A種優先株式）	1名

大株主（普通株式・上位10名）

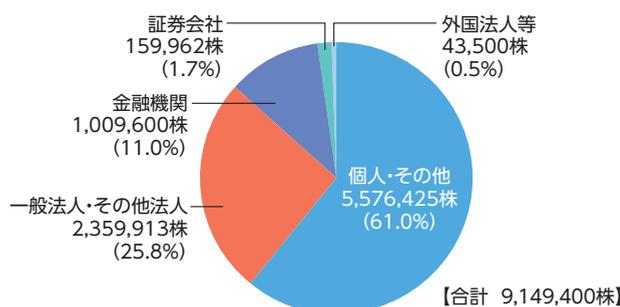
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ダイヤモンドエンジニアリング株式会社	1,000,290	11.1
池 永 重 彦	913,629	10.1
ダイヤモンド電機取引先持株会	827,000	9.2
池 永 辰 朗	658,791	7.3
豊 栄 産 業 株 式 会 社	387,840	4.3
ダイヤモンド電機社員持株会	298,786	3.3
池 永 悦 治	271,000	3.0
第一生命保険株式会社	240,000	2.7
阪 田 和 弘	214,000	2.4
株式会社三井住友銀行	200,600	2.2

（注）持株比率は自己株式（145,383株）を控除して計算しております。

所有者別株主分布状況（普通株式）



所有者別株式数分布状況（普通株式）



会社の概況

会社概要

商号 ダイヤモンド電機株式会社
創業年月日 昭和12年4月10日
設立年月日 昭和15年6月17日
資本金 2,190百万円
本社 大阪市淀川区塚本一丁目15番27号
主な事業内容 自動車用点火コイル及び電装品の製造販売
冷暖房用及び給湯用着火装置の製造販売
各種電子制御機器の製造販売
パワーコンディショナ等太陽光発電関連製品の製造販売

関連子会社

国内 新潟ダイヤモンド電子株式会社
ダイヤモンドビジネス株式会社
北米 Diamond Electric Mfg. Corporation (米国)
欧州 Diamond Electric Hungary Kft. (ハンガリー)
アジア 金剛石電機(蘇州)有限公司(中国)
金剛石電機国際貿易(蘇州)有限公司(中国)
DE Diamond Electric India Private Limited (インド)
Diamond Electric (Thailand) Co., Ltd. (タイ)
Diamond Electric Asia Pacific Co., Ltd. (タイ)
Diamond Electric Korea Co., Ltd. (韓国)
PT. Diamond Electric Indonesia (インドネシア)
PT. Diamond Electric Mfg Indonesia (インドネシア)

役員 (平成29年6月23日現在)

代表取締役社長CEO兼グループCEO 小野 有理
取締役専務執行役員COO 前田 真澄
取締役常務執行役員 長谷川 純
取締役監査等委員(常勤) 入江 正孝
取締役監査等委員(社外) 吉田 夢佳志
取締役監査等委員(社外) 岡本 岳
取締役監査等委員(社外) 古川 雅和
常務執行役員CFO 徳原 英真
常務執行役員CIO 西川 勇介
執行役員工場長 西山 英治
執行役員副工場長兼海外事業統括本部長 植本 寛一
執行役員営業本部長 森下 浩二
執行役員品質保証本部長 阿部 賢一郎



当社インターネットホームページ
<http://www.diaelec.co.jp/>
決算情報等、最新の会社情報を当社ホームページに掲載しております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
剰余金の配当基準日 毎年3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 普通株式 1,000株
公告方法 当社のホームページに掲載いたします。
<http://www.diaelec.co.jp/content/j/kessan/>
ただし、事故その他やむを得ない事由により、当社のホームページに掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所(郵便物送付先) 大阪市中央区北浜四丁目5番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
(インターネットホームページURL) <http://www.smbt.jp/personal/agency/index.html>
上場金融商品取引所 東京証券取引所

【株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について】

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、お取引の証券会社等へご照会ください。

【株式併合、単元株式数の変更について】

平成29年6月23日に開催された「第78期定時株主総会兼普通株主様による種類株主総会」において、同年10月1日に株式併合(普通株式5株を1株)及び単元株式数を変更することが承認可決されました。

	変更前	変更後
単元株式数	1,000株	100株
発行済株式総数	9,149,400株	1,829,880株
発行可能株式総数	36,500,000株	7,300,000株

(注)「株式併合後の発行済株式総数」は、株式併合前の発行済株式総数及び株式の併合割合に基づき算出した理論値です。